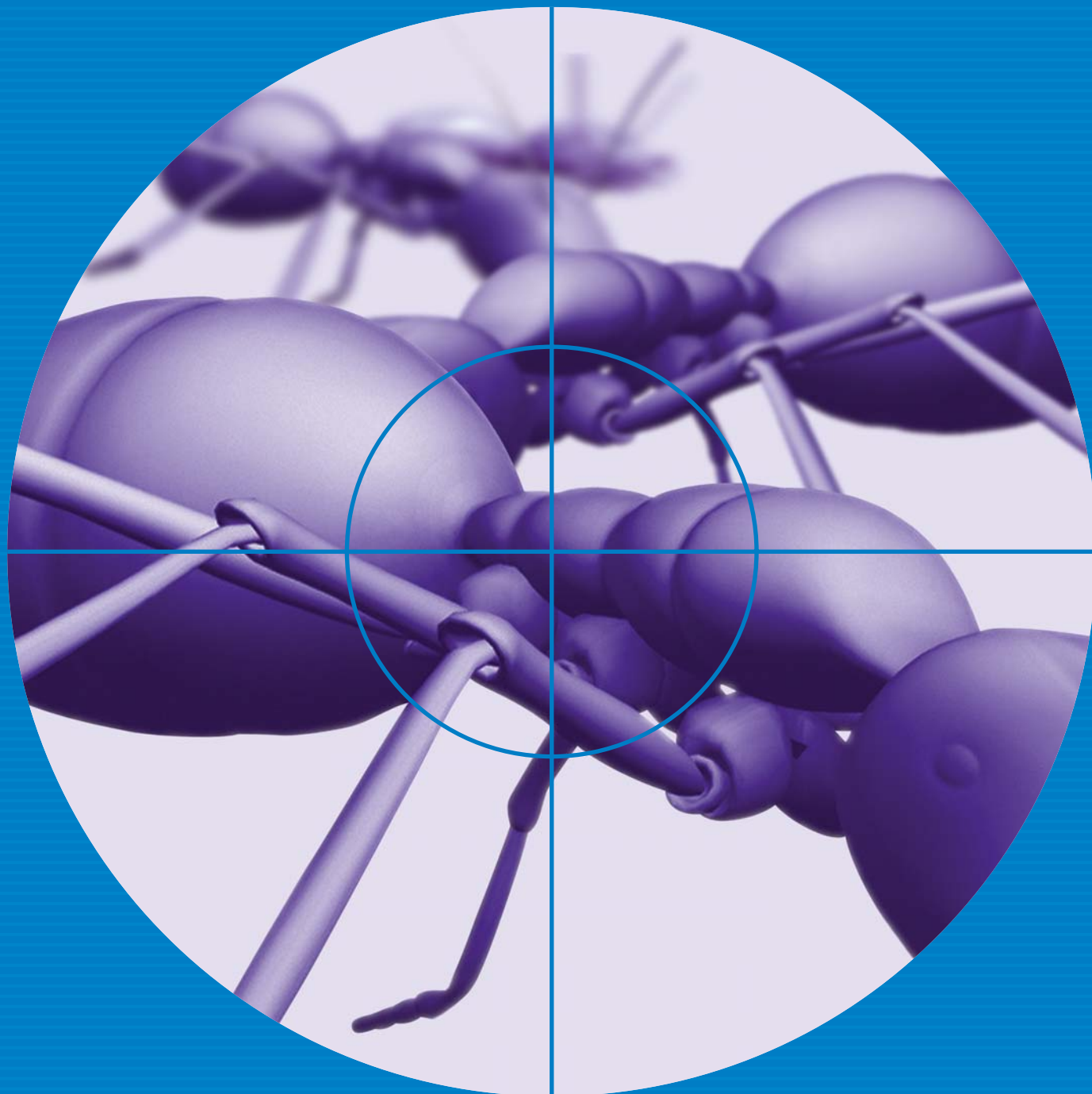


食いつきがいい。だから効く。



不快害虫駆除用 ベイト剤

シカ-プシユ-ターTM

Professional Pest Control
All You Need.

 **BASF**

The Chemical Company

独自に開発した喫食成分配合で、 喫食阻害を解決。 手強い害虫も根こそぎ駆除します。



代表的な有効成分、ヒドラメチルノンを2.15%配合

アリやゴキブリ用と同じタイプのベイト剤に使用されている代表的な有効成分、ヒドラメチルノンを2.15%配合しました。ヒドラメチルノンは、緩やかに、しかも着実に殺虫効果を発現させていくことにより、喫食した個体だけでなく、巣にいる幼虫も殺虫。そのため死骸が目立たないのも特徴です。世界でも定番の有効成分として、20年以上使用されています。

【安全性】

動物種類	投与方法	LD50(mg/kg)	
		原体	ベイト
ラット	経口	♂:1,432 ♀:1,623	♂・♀:>5,000
	経皮	♂・♀:>5,000	♂・♀:>4,000

新開発の喫食成分で、他剤では効きにくい個体も駆除

ベイト剤には喫食阻害という弱点が付き物です。ベイト剤は目的の害虫が食べて始めて効果が発揮されますが、虫にも食べ物の好き嫌いがあり、同じ種類であっても個体により喫食性が同じではありません。喫食しない、または十分に食べない害虫は生き残ってしまいます。一般的にこれを喫食阻害と呼んでいます。現場でこれを無視して施工し続けると、害虫は徐々に増え、気付いたときには大発生 of クレームにつながります。シャープシューターは独自の喫食成分を日本国内で開発し、他剤では効きにくい個体にも対応できるように工夫しています。

定期的に喫食成分を改良し、喫食阻害を防止

シャープシューターは、定期的な喫食成分の改良を予定しています。害虫の喫食阻害は、同一成分を使い続けることにより発現しやすくなります。そのため、より良い製品にすべく研究を続け、継続的に喫食成分を改良していくことが喫食阻害の防止につながるのです。

32mLタイプのシリンジを採用

シャープシューターのシリンジは32mLタイプを採用。一般的なベイト剤のシリンジと同じ物を使っていますので、現在お持ちのベイト剤用機材をそのまま使用できます。

包装形態：シャープシューター 30g×10本

【用法及び用量】

本品を1~2g/m²の割合で、不快害虫の出没する場所において、壁の隙間や冷蔵庫の下・裏、及び棚の裏などに、人が直接触れないよう適切にスポット処理します。不快害虫の生息している巣の近くに集中して仕掛けてください。

製造販売元

BASFアグロ株式会社

環境緑化製品部

〒106-0032

東京都港区六本木一丁目4番30号

六本木25森ビル

TEL.03-3586-9713

ホームページ<http://www.basf-agro.co.jp>